

武蔵大学「三学部横断型ゼミナール・プロジェクト」が 企業の CSR 報告書を作成・発表する「2018 最終報告会」を開催

日時：2018年12月22日（土） 会場：武蔵大学 江古田キャンパス

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、経済学部・人文学部・社会学部の3学部が協働で企業からの課題に取り組む「三学部横断型ゼミナール・プロジェクト」（授業名：学部横断型課題解決プロジェクト）の2018年度後学期最終報告会を12月22日（土）に開催します。本学は開学以来、少人数制で自ら調べ、自ら考える「ゼミナール」での教育に力を注いできた伝統があります。「三学部横断型ゼミナール・プロジェクト」はゼミをさらに発展させたものです。本ゼミは2008年度に正規科目となってから、今年で11年目を迎えています。

三学部横断型ゼミナール・プロジェクト最終報告会の概要

3つの学部の学生が一つのチームを作り、実在する企業の協力を得て学部の専門性を生かしながら調査・分析し、企業からの課題解決に取り組みます。今回は株式会社キミカ、株式会社協進印刷の2社にご協力をいただきました。

このゼミの課題は、「担当企業の CSR 報告書の作成」と「今後の CSR 活動と CSV 活動についての提案」です。学生はチームごとに、担当する企業を3カ月間かけて調査・分析し、その結果を最終報告会にて発表しており、学生が制作した担当企業の「CSR 報告書」は会場にて参加者に配布されます。報告会は高校生や一般の方へも開放し、学生たちの発表を聴講いただけます。

日程

日時：2018年12月22日（土） 11:00～13:15

会場：武蔵大学 江古田キャンパス 8号館5階 8503教室

発表者：武蔵大学 三学部横断型ゼミナール・プロジェクト履修生

担当教員：

大熊美音子経済学部助教、高橋則雄人文学部招聘教授、

玉置佑介社会学部助教

※入退場自由・予約不要

内容

11:00～11:05 来賓のご紹介

11:05～11:20 担当教員によるプロジェクトの概要説明

11:20～11:25 学内関係者挨拶

11:25～12:10 株式会社協進印刷担当チーム発表

12:10～12:20 休憩

12:20～13:05 株式会社キミカ担当チーム発表

13:05～13:15 全体の講評

*進行によっては、多少時間が前後する場合がございますので、ご了承ください。



↑ 2017年度後期最終報告会の様子

■武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナルが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1